

事務事業実績測定調書

R5調書番号 26

事務事業名称	道路施設等維持管理事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	土木部			課	道路河川補修課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標	1.災害に対する備えができているまち								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2012(H24)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	社会資本整備重点計画法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市道施設を利用する市民及び準用河川沿線に住む住民すべて			
	サブターゲット	市道施設を利用する事業者及び準用河川沿線で事業を行う事業者すべて			
	ターゲットが抱える課題	道路を通行する利用者が円滑かつ安全に通行できないと交流及び物流が滞る。河川が保全されていないと、大雨時に河川氾濫や、流水機能が妨げられることにより被害が発生する。また、避難の妨げになるため、不安が募る			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	・道路を安全・安心に通行できることで、人の交流や物流が円滑に進んでいる。 ・防災力が向上し、被害の発生、避難経路の確保ができる、安心、安全につながる。				
事業概要	・職員による道路パトロールや道路利用者からの通報により発生する補修箇所の把握及び、情報提供者への対応説明 ・補修等の必要箇所について、緊急度合いや重要性・規模を考慮し、直営による迅速な緊急対応や業者発注による対応 ・街路樹等の除草・剪定作業委託事業 ・歩道や車道の通行を阻害する支障木等について、直営による迅速な緊急対応や業者発注による対応 ・準用河川を主として、除草及び清掃作業、補修工事等の直営及び業者発注による保全活動 ・市駅前等に設置されているエレベーター・エスカレーター施設や牧野長尾線等アンダーパスに設置の排水ポンプ施設 等について、直営による日常点検・降雨前点検・清掃及び監視業務委託による管理				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
						道路施設及び準用河川等が適切に維持管理できている。				パトロールや道路利用者等からの要望により、補修箇所を把握し、補修・改良および準用河川等の各種保全活動をする。				
指標設定	指標説明					要望に対する対応率 【算出式: 対応完了数/受付伝票×100】				要望件数 【要望件数は、管理道路の増加や、大規模修繕等の影響により変動があるため、毎年度見直しを行う。】				
					単位	%	単位	件						
	指標種類						増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)				100	100	100	100	3,400	3,250	3,250	3,250	
		実績				95.50	99.12	95.93	96.33	2,949	2,929	2,923	3,194	
達成度						96%				102%				

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						LED化により、街路灯の電気代が 上がらない。				街路灯のLED化を行う。			
指標 設定 ②	指標説明					街路灯の電気代が上がらない。				LEDに交換した基数			
							単位	%			単位	箇所	
	指標種類					減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					100	100	100	100	5	5	5	5
	実績					93.70	99	109.90	69.30	0	5	5	42
達成度						131%				840%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	20.60
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額 (千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	85,322	119,524	162,637		
	会計年度任用職員	2,015	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	87,337	119,524	162,637		
物件費計		45,488	49,250	624,887	631,873	98.9%
歳出計		132,825	168,774	787,524		
歳入	国庫支出金	0	0	1,427	7,800	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	22,990	0	0	0	
	市債	8,400	22,000	10,200	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	31,390	22,000	11,627	7,800	
一般財源（物件費に充当されるもの）		14,098	27,250	613,260	624,073	

5. 総括的分析

総括的分析	令和5年度は、道路施設に関し、市民・自治会等からの通報、要望や道路パトロール(職員)に基づく対応を3,077件行った。維持管理、修繕等に要する経費は年々増加傾向にあり、限られた予算の中で優先順位を立てて予算執行している。市民の安全に直結する道路の陥没や穴ぼこなどの緊急対応、災害時の対応を直営で行い、大規模な補修や広範囲な除草について発注業務を行った。街路灯の電気代達成度については、国施策の電気代負担軽減策により69.3%となっている。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	市民が安全で安心して利用できるよう、道路施設の維持管理を適切に行っていく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 27

事務事業名称	準用河川等維持管理事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	土木部			課	道路河川補修課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち								
	施策目標	1.災害に対する備えができていますまち								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	社会資本整備重点計画法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	準用河川沿線に住む住民すべて			
	サブターゲット	準用河川沿線で事業を行う事業者すべて			
	ターゲットが抱える課題	河川が保全されていないと、大雨時に河川氾濫や、流水機能が妨げられることにより被害が発生する。また、避難の妨げになるため、不安が募る			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	防災力が向上し、被害の発生、避難経路の確保ができる、安心、安全につながる。				
事業概要	準用河川を主として、維持管理のために除草および清掃作業を行うとともに、補修工事等を行うもの 【主な事業内容】 ・準用河川等の除草委託 ・準用河川等の清掃委託 ・準用河川の補修工事 ・急傾斜等の除草委託 ・一般河川の維持管理(分任分) ・その他直営による保全活動				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
						準用河川等が適切に維持管理できている。				準用河川等の各種保全活動を行う。					
指標設定	指標説明					各種保全活動に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式:決算額/当初予算額×100】				「準用河川」の除草・清掃にかかる委託・工事の実施回数					
					単位	%			単位	回					
	指標種類						減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)						R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績						100以内	100以内	100以内	100以内	2	2	2	2
達成度										50%					

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.53
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	8,347	3,750	4,184		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	8,347	3,750	4,184		
歳入	物件費計	23,191	27,763	26,482	30,000	88.3%
	歳出計	31,538	31,513	30,666		
	歳入計 (物件費に充当される特定財源)	0	0	0	0	
一般財源 (物件費に充当されるもの)		23,191	27,763	26,482	30,000	

5. 総括的分析

総括的分析	R5年度は、委託として八田川他除草委託他2件、護岸施設修繕としてフェンス等修繕3件、護岸緊急工事1件を実施した。 本事業は、各種委託契約において契約差金が発生したこと、施設の損傷に伴う修繕も少なかったため、R5年度の予算執行率は88.3%にとどまっている。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、準用河川の機能確保のため、年間除草委託及び緊急時の工事対応等ができるように進めていく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 28

事務事業名称	舗装長寿命計画事業										
測定年度	2023(R5)年度			部	土木部			課	道路河川補修課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		R5	○
総合計画体系	基本目標	1.安全で、利便性の高いまち									
	施策目標	1.災害に対する備えができているまち									
	実行計画名	1-2.防災対策の推進									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2018(H30)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	幹線道路を利用する市民すべて。			
	サブターゲット	幹線道路を利用する事業者すべて。			
	ターゲットが抱える課題	事後保全型の補修では、予想外の財政負担が発生することになり、市民負担の増加、補修作業の遅滞につながる。			
	ターゲットが抱える課題	道路を通行する利用者が円滑かつ安全に通行できないと人の交流及び物流が滞る。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	ライフサイクルを見据えた管理が確立されることにより、市民負担が軽減、平準化されると共に、道路を安全・安心に通行できることで、人の交流や、物流が円滑に進んでいる。				
事業概要	道路の大規模修繕、改築までのライフサイクルを延長し、コストの平準化を図るため、平成30年度に策定した舗装長寿命化修繕計画に基づき、5年毎に路面性状調査を実施し、舗装の損傷状況に応じた工法により予防保全型の修繕を行う。 【対象路線】:都市計画道路、主要道路リフレッシュ整備事業路線 【修繕予定 延長】:L=37,004m(都市計画道路:9,049m、主要道路リフレッシュ整備事業路線:27,955m)				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
						「舗装長寿命化計画」通りに舗装補修を行うことにより、市民負担が軽減、平準化されると共に、道路を安全・安心に通行できることで、人の交流や、物流が円滑に進んでいる。				「舗装長寿命化計画」に基づき、舗装補修を行う。					
指標設定	指標説明					計画予定延長のうち、補修延長の割合 【算出式:補修延長/計画予定延長×100】				舗装補修を実施した年間補修延長距離					
					単位	%		単位	m						
	指標種類						増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値							R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)						1500m/3700 4m×100	2500m/3700 4m×100	3500/37004	4500/37004	1,000	1,000	1,000	1,000
実績						6.60	8.50	11.52	14.90	2,436	702	1,119	1,277		
達成度						123%				128%					

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.40
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,771	1,875	3,158		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	3,771	1,875	3,158		
歳入	物件費計	35,863	65,265	68,407	73,100	93.6%
	歳出計	39,634	67,140	71,565		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	32,200	58,700	58,700	62,100	
	その他	0	0	0	0	
歳入計（物件費に充当される特定財源）		32,200	58,700	58,700	62,100	
一般財源（物件費に充当されるもの）		3,663	6,565	9,707	11,000	

5. 総括的分析

総括的分析	損傷による事故の未然防止を図る予防保全型の計画である舗装長寿命化計画に基づき、計画的に修繕工事を実施している。R5年度は、新香里環状線他3路線（施工延長1277.5m）の工事を実施した。また舗装長寿命化計画更新のため、路面性状調査委託を実施し、更新計画策定（対象年R6～R10）を行った。舗装長寿命化修繕計画を策定することで、ライフサイクルコストの通減や予算の平準化を図ることが見込まれるが、定常的な財政負担は継続していく。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取り組み方針	次期計画より計画対象路線を拡充しており、持続的に安全安心な道路通行空間を確保するため、予防保全型補修により、さらなる事故予防と長期的な維持管理コストの縮減に取り組みます。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 947

事務事業名称	道路河川補修課運営事務									
測定年度	2023(R5)年度		部	土木部			課	道路河川補修課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	9.施策体系外								
	施策目標	99.施策体系外								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称			サンセット	～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	課の運営を円滑に図る必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課の運営が円滑な状態にある。				
事業概要	維持補修課の事務事業が効率的に執行されるよう室内の連絡調整を図る。また、庶務事務や道路補修に関する市民等の通報受付を適切に行う。 ①連絡調整事務 予算・決算、各種照会・回答等について、室内の連絡調整及び執行管理 ②庶務事務 在籍職員の出退勤、休暇申請等の管理・報告、会計年度任用職員の報酬関係の報告等 ③受付事務 道路補修に関する市民等の通報・要望等の受付、伝票作成(災害情報システム)、進捗確認				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定	指標説明												
	指標種類												
	指標数値												
		目標 (見込み)											
		実績											
	達成度												

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	21.78
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	28,442	32,420	171,953		
	会計年度任用職員	4,156	4,249	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	32,598	36,669	171,953		
	物件費計	10,837	12,096	11,009	9,897	111.2%
歳出計		43,435	48,765	182,962		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		10,837	12,096	11,009	9,897	

5. 総括的分析

総括的分析	予算・決算、各種照会・回答など道路河川管理課との連絡調整及び執行管理、課在籍職員の出退勤、休暇申請等の管理・報告などの庶務事務全般と、道路河川補修課特有の事務である道路補修に関する市民等の通報・要望等に対応を要する業務となっている。通報・要望等については、災害情報システムを活用し補修伝票整理・把握を行い、対応処置については直営と業者発注により行っている。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	道路補修課の事務事業について、道路河川管理課と連携を図りながら、円滑で効率的な運営を進めていく。